

# 放射線物理化学講座

## 講座・部門紹介

当講座は、放射線による人体の被ばく線量に関する調査研究を行う講座として2013年8月に開設されました。原発事故由来の放射線を含め、身の回りの放射線による被ばく線量をより的確に評価するため、環境から人体に至るまでの様々なパラメータについて調査研究を行っています。



### スタッフ紹介



教授 石川 徹夫

私立桐蔭学園高等学校（神奈川県）卒業  
平成元年 東京大学工学部卒業  
平成12年 博士（医学）取得（広島大学）  
研究分野  
1) 放射線測定  
2) 被ばく線量評価

### 講座・部門の主な研究内容

1. 県民健康調査・基本調査（事故後初期の外部被ばく線量評価）の支援
2. 原発事故後の放射性物質の環境動態調査及び被ばく線量評価
3. 自然放射線による被ばく線量の評価

### 講座・部門からのメッセージ

原発事故後は、以前にも増して医師に放射線の知識が求められるようになったように思います。放射線の知識を持った医療人の育成に貢献できればと考えています。